

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人 歓喜会 特別養護老人ホーム	階数	地上3F
建設地	堺市北区中村町361番の一部 他5	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年12月1日
敷地面積	2,867 m ²	作成者	高橋建築設計事務所
建築面積	1,619 m ²	確認日	2022年12月14日
延床面積	4,029 m ²	確認者	高橋建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 古くからの家屋も多く木質材や瓦屋根が残り、南東側は広大な田園の土と緑が広がる周辺の風景に違和感のないよう和風の感覚を盛り込み、周辺の人々や施設利用者にとって落ち着くやさしい施設となるよう計画している。		その他 感染症対策の観点から、感染防止面会室や消毒液置場を設けたり抗菌仕様床材を採用するなど、衛生面を重視した計画としている。
Q1 室内環境 高性能複層ガラス(T5+A6+LowE5)を採用することで断熱性能や日射遮蔽性能に配慮している。 また、建築材料をほぼ全面的に汚染物質の少ない製品を採用し室内の空気に配慮している。	Q2 サービス性能 個室は余裕がある広さとし、1・2・4人室を設けることで多様な生活や人の関わりを意識した計画としている。 バリアフリーに加え、ユニバーサルデザインも取り入れている。	Q3 室外環境(敷地内) 道路や隣地境界沿いを緑化し、北側には緑に囲まれた憩いの広場を設けている。建物周辺に遊歩道を設け、施設へのアプローチはアースカラー調のタイルによる舗装で周辺環境・施設外部・施設内部に繋がりを持たせる計画
LR1 エネルギー 外皮の断熱性を高めるなどし、省エネルギーに配慮している。 浴室の湯水は循環型とろ過して利用する。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材や再利用できる資材を採用し、環境に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場、駐車場を設け、周辺道路に影響を及ぼさない計画としている。 南側道路は拡幅し、計画地内の自動車道路との空間及び道路沿い緑地により計画建物による圧迫感が緩和される。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	社会福祉法人 歓喜会 特別養護老人ホーム 梢, よろこび園 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区中村町361番の一部、362番の一部、367番1、367番3、367番の5の一部、368番の一部	1.1	B+
	主用途/延床面積	病院 / 4,028.54 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.3	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.6	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	5.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	